



野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



アオバズクの親子 (撮影：ハネひとみさん)

野鳥さが212号 主な内容

- 2017年度支部総会報告-----2ページ
- 2016年度決算 & 2017年度予算について -----3ページ
- 役員会報告 -----4ページ
- 支部からのお知らせ -----5ページ
- 各地の観察会報告 -----6ページ
- 皆さんからのおたより -----8ページ
- 皆さんからの野鳥&生きもの情報-----17ページ
- 近隣地区の観察会情報-----18ページ
- 観察会会場までの案内 -----19ページ
- 観察会などのお知らせ (2017年8月~9月) -----20ページ



2017 年度支部総会報告

(事務局: 島田洋)

【日時】 2017 年 6 月 4 日

【会場】 佐賀市大和町 石井樋公園「水ものがたり館」

【出席者】 田代規生、宮原明幸、吉澤進、深村徹、野上駿、古賀郁香、徳淵義実、中島修、中島由美子、佐藤千絵美、古川恵子、長岡保、高木義彦、高木宏子、川原直嗣、水田稔、高山英一、福田康典、中原正義、大川幸子、山中美由起、加藤芳隆、久富文江、馬場清、中島睦子、宮原史枝、服部二郎、江口富美子、佐田秀文、中村さやか、橋本泰博、田中丸雅雄、八木ひとみ、蒲原留美、青柳良子、島田洋

【報告】

午前 8 時から石井樋公園で野鳥観察会を行いました。その後「水ものがたり館」研修室に集合して、10 時 15 分より支部総会を行いました。宮原明幸支部長のあいさつの後、橋本泰博さんに総合司会を、「水ものがたり館」の服部二郎さんに議長をお願いして議事を進めました。(議案内容については総会議案書を参照下さい)

第 1 号議案 2016 (平成 28) 年度事業実績及び同決算について

- ★ 2016 年度実績報告：事務局の島田より報告した。
- ★ 2016 年度決算報告
 - ① 会計担当の青柳良子より、決算報告があった。
 - ② 金額については、合っているが、いくつか疑問点があった。
- ★ 質疑応答
 - Q: 決算報告の収入事項で計算が合わない部分があります。
 - A: 調査、報告をする。
 - 3~4 ページに「2016 年度決算 & 2017 年度予算について」を掲載。
 - Q: 県内図書館への支部報配送は支部から県内の図書館に問い合わせをした。
 - A: 希望するところに配っている。

第 2 号議案 2017 年度事業計画 (案) 及び同予算 (案) について

- ★ 2017 年度事業計画：事務局島田より報告した。
- ★ 2017 年度予算報告
 - ① 会計担当の青柳良子より予算について報告した。
 - ② 予算案は次号の支部報で再度案内する。
 - 3~4 ページに「2016 年度決算 & 2017 年度予算について」を掲載。
- ★ 質疑応答
 - Q: 会費について無料化するという考えはありますか？
 - A: 日本野鳥の会の本部は大変な財政難にある。無料化は適当ではない。

第 3 号議案 日本野鳥の会佐賀県支部規約改正について

- ① 支部の所在地は中村さやかさん (事務局長) の住所となる。



- ② 会計の任期を2年とする。
- ③ 会計監事を二人とし、任期を3年とする。

第4号議案 役員体制について

- ① 会計監事が中島睦子から、江口富美子・中島由美子に交替した。

※ 各議案とも賛成多数により承認されました。 また各役員の自己紹介を行いました。

意見交換・情報提供

- ① 若い年代の会員を増やしたい。ヤング探鳥会などを展開して行こう。
- ② 佐賀県支部のホームページを作ろう。
- ③ 水ものがたり館の服部さんから、野鳥の観察の履歴などを作ってほしいとの提案。
- ④ 本部から「太陽光発電」が野鳥に与える影響についてアンケートが来ている。
- ⑤ 佐賀県支部の資料室、集まるところがあればとの意見があった。
- ⑥ 塩田川ではカワウが増えすぎて、アユ・鰻の放流が中止されてしまった。
- ⑦ みやき町では、会員宅のすぐそばのクスノキにアオサギがいくつも巣をかけた。

まとめ

- ★ 佐賀県支部には、野鳥保護や会員拡大など多くの課題がある。
- ★ これからも支部の活動を展開して行こう。

※2016年度決算 & 2017年度予算について

(1) 一般会計

【収入の部】(単位:円)

【支出の部】(単位:円)

項目	2016年度決算	2017年度予算	摘要	項目	2016年度決算	2017年度予算	摘要
前年度繰越	87,771	452,630		会議費	17,652	20,000	会議室使用料・お茶代等
会費	342,050	340,000		通信費	74,837	75,000	支部報発送(個人宛・本部宛)
寄付金	11,980	5,000		印刷費	11,688	10,000	支部報等印刷
助成金・謝礼	25,434	15,000		旅費・参加費	201,190	200,000	探鳥会リーダーズフォーラム
諸収入	49,800	20,000	資料代・保険代				連携団体全国総会
雑収入	757,801	20,000	カササギバッジ売上等				九州・沖縄ブロック大会
収入合計	1,274,836	852,630		渉外費	17,600	18,000	全国密対連・黒髪山を守る会
							徐福湿原の森づくり会
							九州・沖縄ブロック負担金
				備品費	123,500	20,000	
				消耗品・事務用品	25,703	25,000	コピー用紙・封筒・インク代等
				保護活動費	21,960	25,000	伊万里ツル保護活動
				普及活動	122,419	150,000	環境フェスタ・初心者等
				調査研究費			シギ・チ調査等
				探鳥会保険	17,685	70,000	担当者の保険を新たに検討する
				入会促進費	24,000	30,000	一人3000円を負担
				役員活動手当	153,916	150,000	観察会担当手当・外部会議等交通費
				予備費	10,056	29,630	
				施設費	0	30,000	資料室を検討する
				支出合計	822,206	852,630	



(2) 物資会計

【収入の部】(単位:円)

項目	2016年度決算	2017年度予算	摘要
前年度繰越	392,081	714,242	
売上金	194,912	100,000	
雑収入	260,765	2	
収入合計	847,758	814,244	

【支出の部】(単位:円)

項目	2016年度決算	2017年度予算	摘要
代金支払い	132,868	135,000	
送金費用	648	1,000	
定期預金へ繰入	0	500,000	
予備費	0	178,244	
支出合計	133,516	814,244	

(3) 受託事業会計

【収入の部】(単位:円)

項目	2016年度決算	2017年度予算	摘要
前年度繰越	207,681	283,206	
受託費	219,800	125,000	県・市より
諸収入	32806	0	
収入合計	460,287	408,206	

【支出の部】(単位:円)

項目	2016年度決算	2017年度予算	摘要
旅費・日当	105,176	120,000	モデル校指導等
需用費	27,569	30,000	
通信連絡費	44,120	50,000	カラス調査等
予備費	216	8,206	
定期預金へ繰入	0	200,000	
支出合計	177,081	408,206	

2016年度残金

一般会計	452,630円	ゆうちょ銀行(8095***)・佐賀共栄銀行(111087*)
物資会計	714,242円	佐賀共栄銀行(111086*)
受託会計	283,206円	佐賀共栄銀行(111085*)

(4) 定期預金

2016年度	2,200,000円	
2017年度	500,000円	(物資会計より繰入)
	200,000円	(受託会計より繰入)
合計	2,900,000円	



役員会報告

(事務局:島田洋)

【日時】2017年5月28日、6月18日

【出席者】(5/28) 宮原明幸、青柳良子、橋本泰博、田中丸雅雄、加藤芳隆、江口富美子、蒲原留美、島田洋 (6/18) 宮原明幸、青柳良子、田中丸雅雄、橋本泰博、中原正義、加藤芳隆、蒲原留美、島田洋

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがああります)

(1) 初心者向け観察会について

9月10日にヤング探鳥会(東よか干潟)、11月頃に初心者向け観察会(巨勢川調整池を予定)を開催したい。

(2) 支部会計の決算・予算について

支部総会において、会計内容について指摘事項があったため、修正して報告。本支部報の3~4ページに修正内容を掲載しています。



(3) 物資関係、在庫について

在庫の物品は、オークションなどにかけて処理していきたい。

(4) 保険関連について

観察会の参加者に事故があった場合の損害賠償の件について意見を交換した。

観察会のリーダーに事故があった場合の保険に関しては、ボランティア保険は利用できない状況にある。何かいい方法はないか情報を収集する。

(5) 自然公園観察指導員について

青柳隆さんが今期で指導員を退く。 来年度からの指導員を支部から推薦する。

(6) 佐賀県週末チャレンジャー事業について

佐賀県庁より上記事業の補助金交付の申請について案内があった。どういう事業になるのか、どういう手続きが必要か、実際に応募するかなど検討する。

(7) その他、「アオバズクの巣箱」「室内学習会」や今後の行事予定などについての協議を行った。



支部からのお知らせ



◆ ようこそ 佐賀県支部へ！・・・支部入会者情報

210号（4月末発行）でお知らせした以降の入会者を「大歓迎！」の気持ちを込めてご紹介いたします。

6月入会	水田 稔さん（神崎市）
7月入会	朝田 清子さん（佐賀市多布施）
〃	大藤 和浩さん・孝子さん（長崎県佐世保市）
〃	竹田 澄子さん・敏明さん（福岡県嘉麻市）
〃	山中 美由起さん（佐賀市大和町）

以上7名の方が7月末現在でのご入会が確認されました。

佐賀県支部の会員は215名となりました。

これからも皆さんのお知り合いの方で「自然に関心のある方」がいらっしやいましたら是非、野鳥の会入会のお誘いをして下さい。

◆ カササギの巣

7月3日に、江口富美子さんのご尽力により「カササギの巣」をきれいな形で電柱から降ろしていただきました。また、青柳隆さんには巣を乗せる台を作っていただきました。環境フェスタが10月14・15日に予定されていますので、その時展示します。





各地の観察会報告



■初心者のためのバードウォッチング

in 東よか干潟（大授搦）報告（佐賀市）

【日時】 平成 29 年 5 月 28 日

【参加者】青木良夫、青柳良子、朝田清子、内田英丸、江口純正、大川幸子、大坪紀子、加藤芳隆、蒲原留美、川上武彦、川原直嗣、川部静也、古賀郁香、佐藤貴信、佐藤千絵美、島田洋、副島美保、田口洋一、竹田澄子、田中照美、田中丸雅雄、鶴田タツエ、鶴田正行、富永誠、長岡保、中島修、中島由美子、永島博、橋本泰博、久富文江、福島祥代、古澤進、松尾優、水田稔、宮崎明美、八木ひとみ、山中美由起、山中一、吉原敏郎、宮原明幸（案内役）

【観察された野鳥】ツクシガモ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、アマサギ、クロツラヘラサギ、ダイゼン、シロチドリ、ミヤコドリ、オグロシギ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、アオアシシギ、キアシシギ、オバシギ、トウネン、ウズラシギ、ハマシギ、ズグロカモメ、メボソムシクイ、ハシボソガラス、スズメ

【案内役より】

「初心者のためのバードウォッチング」と銘打っての探鳥会です。

受付準備中に堤防後背の松の木で、蜘蛛の糸に絡まっている小鳥を、加藤さんが発見！ 助けられました。

小鳥は、渡り途中のメボソムシクイでした。 怪我も無い様子で加藤さんの手のひらから飛び立って行きました。

さて、探鳥会の方ですがラジオ・新聞でも案内いただき、総勢 40 名、非会員の参加 17 名と大盛況です。

お空は晴天、浜風もあり絶好の鳥日和。 シギチは繁殖地に向け大部分が渡って行ったのでしょう、個体数は随分減っていますが、トウネン・ハマシギ・ホウロクシギ・キアシシギ等々、種数はますます。初めての方々はシギ達の可愛い姿に感動されています。

探鳥会の後は、公園内の「紅楽庵」をお借りして「お茶講（おちゃご）」を催しました。 本当にお茶と駄菓子のご接待ですが、和気あいあい鳥談義に花が咲きます。先のメボソムシクイの恩返しでしょうか？ 新しい仲間が3名増えました。

■石井樋観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成 29 年 6 月 4 日

【参加者】田代規生、宮原明幸、吉澤進、深村徹、野上駿、川部静也、古賀郁香、徳淵義実、佐藤千絵美、中島修、中島由美子、古川恵子、長岡保、岡崎章、朝田清子、高木義彦、高木宏子、川原直嗣、水田稔、高山英一、福田康典、中原正義、副島美保、大川幸子、山中美由起、加藤芳隆、久富文江、田中照美、中島睦子、宮原史枝、服部二郎、青柳良子（案内役）

【観察された野鳥】ダイサギ、コサギ、アオサギ、カルガモ、アオバズク、コチドリ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ツバメ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、ウグイス、シジュウカラ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

【案内役より】

10:00からの支部総会を控えているため、8:00開始の観察会でした。

ここでのお目当ては「アオバズク」(来てくれているといいなあ・・・)と思いながら車を走らせました。旗を立てるために早く(7:15着)行きました。が、すでに加藤さんの姿が！いつもアオバズクが止まるムクノキではなく、すぐそばの鬱蒼と葉を茂らせている方のムクノキにカメラを向けて「来てますよ～」と。

何と29日(ほぼ1週間前)に確認したとのことでした。見えたのは1羽だけでしたが、すでに抱卵しているのかどうかは、わかりません。

とにかく無事に子育てしてくれることを祈るのみです。

参加者の皆さんもアオバズクに感動。「初めて観た！」という声も聞こえて来ました。よかったです。

川はまだ工事中。おまけに犬のお散歩もあって、鳥影はナシ！それでも水辺を好む鳥たちがチラホウ観られ、20種にもなったことでホッとしました。

日差しは強かったのですが、風がさわやかで、気持ちのいいウオッチングでした。

■八東ふるさとの森探鳥行報告(鳥取県八頭町)

【日時】 平成29年6月10日～11日

【参加者】川原直嗣、古賀郁香、徳淵義美、橋本泰博、八木ひとみ、山中美由起、宮原明幸、加藤芳隆(案内役)

【観察された野鳥】マガモ、キジバト、アオバト、カワウ、アマサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、ジュウイチ、ホトトギス、ツツドリ、ハチクマ、トビ、コノハズク、アオバズク、ブッポウソウ、オオアカゲラ、アオゲラ、サンコウチョウ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ツバメ、コシアカツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ミソサザイ、ムクドリ、トラツグミ、クロツグミ、キビタキ、オオルリ、スズメ、キセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ

※コメントは長文のため「皆さんからのお便り」のページに掲載しています。

■御手洗の滝観察会報告(鳥栖市)

【日時】 平成29年6月18日

【参加者】青柳隆、青柳良子、池田俊一、上野武美、内田英丸、大川幸子、大坪紀子、岡崎章、加藤芳隆、蒲原留美、川原直嗣、甲木弘美、古賀郁香、副島美保、高崎由美、高山英一、田辺憲子、長岡保、中島修、中島由美子、中原正義、長谷川健一、橋本泰博、林田純子、久富文江、福田康典、水田稔、村上信行、宮原明幸(案内役)

【観察された野鳥】アオサギ、ホトトギス、トビ、コゲラ、サンコウチョウ、ハシブト

ガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、ヤブサメ、メジロ、ミソサザイ、キビタキ、オオルリ、カワラヒワ、ソウシチョウ

【案内役より】

「シシシシシ・・・♪」ヤブサメの声！？ そら耳？ もう高い音域は聞こえないのですが（涙）

今年は空梅雨でしょうか？ 梅雨入りしたと言うのに、いっこうに雨が有りません。おかげで参加者も29人と多く喜ばしいことですが・・・。

木々が茂り、鳥の姿を観るのは難しい時期ですので、歌声を楽しみます。

オオルリの声が梢から降っています。カジカガエルも沢音と一緒に聞こえています。

滝ではミソサザイが、滝音に負けずと歌っていました。近くに巣があるのでしょうか。

しばらく滝の回りでラン科の腐生植物ツチアケビや、沢を泳ぐヤマメ、ヤマアカガエル、ミヤマカワトンボ等々観察しつつ涼を取りました。

ヤブサメは、ちゃんと鳴いていました♪ 若い参加者が確認されましたので間違いありません（笑）



皆さんからのおたより



●「普通動物図譜の鳥たち 第3回」・・・山澤 健一さん（茨城県神栖市）

今回は夏鳥として春先に南から渡って来て今頃は巣立ち中のツバメです。

登場するツバメはいつものことながら図譜は旧仮名遣いになっています。

現代仮名遣いで言いますとリュウキュウツバメ・イワツバメ・コシアカツバメ・ツバメの4種類です。



左：りうきうつばめ（リュウキュウツバメ）
右：いはつばめ（イワツバメ）



左：こし？かつばめ（コシアカツバメ）
右：つばめ（ツバメ）

●「新潟県愛鳥センターを訪問」・・・佐田 秀文さん（福岡県糸島市）

20数年前に転勤で新潟居住の時に訪れていた「新潟県愛鳥センター（紫雲寺さえずりの里）を、今回久しぶりに尋ねました。傷ついた野鳥や巣から落ちたヒナなどを保護する場所・人・費用など、すぐには難しいと思いますが、佐賀県にも、小さくとも鳥獣を保護する場所が出来ればよいなと思っています。



【愛鳥センターについて】

- ☆ 場所：〒957-0231 新潟県新発田市藤塚浜海老池 TEL：0254-41-4500
- ☆ 所長：伊藤 浩（獣医師）さん
- ☆ 建設：平成2年に建設された。二階建ての建物と野鳥保護の小屋・野鳥観察地がある。2階は講習会など可
- ☆ 体制：県の獣医師2名を含む6名体制。
 - ・ 来館者：当初は年間3万人の来館者。しかし現在は1.2万人と減少。幼稚園・小学生生徒の団体が多い。
 - ・ 鳥獣の持ち込み：傷病鳥獣は県内の広い場所から持ち込まれる。成27年度は101種519羽頭であった。内146羽が放鳥された。
 - ・ 傷ついて自然で生きていけない野鳥は保護されている。
 - ・ 死んだ野鳥は、はく製や羽根を集め触れる教材などに活用されている。



新潟県愛鳥センター



トキのはく製



保護されたコノハズク？

● 「子育て上手なカルガモ母さん」・・・永島 博さん（佐賀市）

先日台風の後、外回りをしていましたらカルガモの親子に出会いました。子ガモが10羽、子育て上手なカルガモ母さんではないでしょうか？車に乗ったままだと、かなり近づいても逃げませんでした。場所は川副町、農業大学付近の蓮田です。



● 「八東ふるさとの森探鳥行」・・・宮原 明幸さん（佐賀市）

今年も加藤さんの企画『八東ふるさとの森』へ、オオコノハズクに会いに行って来ました。10日午前6時、新鳥栖駅第一駐車場出発。（この頃は探鳥行の集合は、ここばかり。1日300円の駐車場の安さと高速&JRへのアクセスの良さが売りです）昨年は、前日の夜に出発広島県三次市のブッポウソウ経由でしたが、ハード過ぎたとの反省もあり、ゆっくり？出発です。

途中、途中、サービスエリアで油を売りつつのんびりと？



（写真提供：橋本泰博さん）

七塚原 SA でコシアカツバメの営巣観察、大佐 SA で買い食い、真庭 PA でカワウのコロニー観察、etc。 福岡、山口、広島、島根、岡山、兵庫の県境を超えて鳥取へ、目的地までの所要時間9時間程で到着です。

ふるさとの森へのアクセス道では早速「ホイホイホイ♪」サンコウチョウが出迎えます。山の稜線をハチクマが舞っています。

管理棟へ今日お世話になるバンガローの手続きに。 『今年は、雪解けが遅く5月まで残っていてコノハズクの営巣も未だです。アカショウビンは抱卵中で見られます。』と管理の方より報告です。バンガローは、鬱蒼と茂るブナ林の中。脇にブルーシートが張ってあり椅子が並べてあります。

アカショウビンは、ブルーシート前の大きなブナの幹の小さな洞（うろ）で抱卵していて時々出て来るとか。バーダーが10人ほど待機されています。

バンガローに荷物を下ろし、しばらくお付き合いしますが、アカショウビンは顔を出しません。森を散策しましょう。

兵庫の県境までは晴れていましたが、ここはどんより曇り空です。

森は葉が茂り4時なのに日暮れの暗さ。昨年コノハズクやオオコノハズクが使っていた巣箱はどれもこれも、ひっそりとしています。

巣箱はひっそりですが森は違います。「ポポッ・ポポッ♪」ツツドリの声が奥の方から、ウグイス、ミソサザイ、オオルリ、クロツグミ、キビタキ、ジュウイチ。

「アーオ・アーオ♪」アオバト。ヒガラでしょうか？「ツピィン・ツピィン・ツピィン♪」トラツグミも遠くに。「フィフィフィ♪」カジカガエルも歌っています。

「キョロロロウ♪」沢の音と一緒にアカショウビンのトレモロの歌も聞こえて来ます。寒い！ウィンドブレーカーを一枚羽織りましたが間に合いません。

雨が、落ちて来ました。バンガローに戻ります「キッ・キッ・キッ♪」ゲラの声がブナの木の上より降って来ます。

野鳥の会新人の山中さん『木の天辺にいます！木の空けた所！』 流石、若いだけあって目が良い、オオアカゲラでした。

雨足も強くなりました、未だ6時ですが夕食（酒盛り）を始めることに。

バンガローは、火が使えず途中のスーパーで調達した惣菜を肴にお酒です。

今回、若い女性会員の古賀さん、山中さんの参加もあり話しが弾みます（笑）

『おはよう！おはよう！おはよう！おはよう！』 どこかの酔っ払いでしょうか？ 外で奇声を上げています。あっと言う間に9時、随分酔いました。

就寝前に夜鳴く鳥声を聞こうと一回り。微かに「ブッキョッコー♪」コノハズの声。

明日は5時と決め床に着きました。まだ9時半です。

4時半、加藤さんに起こされます。加藤さん、バンガローが狭く1人車中泊されました。一晩中コノハズクとアオバズク・ジュウイチの声で眠れなかったそうです。

アカショウビンの巣の前、ブルーシートの下では既に大阪のバーダーが並んで席に着いて顔を出すのを待たれています。

散策しましょう。夜の鳥達は、すっかり鳴き止みました。

ジュウイチ、ツツドリ、オオルリ、キビタキ、アオバト、アカショウビンの声が遠く近く聞こえています。“落石の恐れあり通行止め”の柵（無視！）を超え、進みます。

加藤さん、既に来ておられました(笑)。『大きなタカがそちらに飛んで来ませんでしたか？アオバトも飛びました！』だ、そうです。 もう一巡りするうちに、一人はぐれました。ブルーシートの方で動きがあります。早速向かいます。 アカショウビンが出ています♪うちの仲間？ 徳淵さんがシャッターを切られているだけ！

知らせねば！ 息を切らして走ります。先の通行止めの先まで『はーはーはーはー、アカショウビンが巣に入りました、はーはーはー』 間に合いませんでした。

今回は、オオコノハズクを観た後で鳥取・岡山の県境でイヌワシを探す予定です。ただ、イヌワシは見られる確率は低い上に怪しい空模様。

橋本さんより『せっかく、若い2人が参加しているのに何も見ないでは・・・確実に見られるブッポウソウへ行こう。』との提案があり、急遽広島三次の作木町へ向かうことに。

バンガローの代金は管理の方が出勤されないと払えません。

記念撮影で時間をつぶしながら待ちます。

そこへ館長が見えました。大阪のバーダーが朝食をとられています・・・館長との会話が聞こえて来ます。『昨晚、11時頃コノハズクが見られたのは！』(※11時にコノハズクが見られたのでしょうか) 『僕が、呼んだから安心して出てきたんだ！』???

昨晚の『おはよー』の連呼はこの方でした(汗)・・・相変わらず、無茶苦茶な人でした(笑)

出発です！ 先程の大阪の方の情報では、ここの沢筋の上空もイヌワシが飛びそうです、注意して走りましょう。

『ハチクマっ！』 プレーキを踏まれます。養蜂箱の処から飛び去る鳥影、すぐ裏の杉林に入ります。 双眼鏡を合わせる間もなくハチクマは飛び去りましたが、興奮したミツバチが集って来ます・・・誰も刺されず、大事にならずに済みました。

三次まで4時間、ぱらぱらと降り出した雨も三次インターを下りた時には本降りに。

江の川沿いの道を、下流へ向けて走ります。

雨は小降りになり、伊賀和志(いかわし)の観察小屋に着く頃には上がります。

※ これは、晴れ男・橋本、晴れ女・八木の効果でしょうか？(恐)

観察小屋には、先客が2人『さっきブッポウソウが顔を出していました。』と、抱卵中なのでしょう、なかなか巣箱から出て来ません。

近くに4箱掛けてありますが、そちらも入って居るやら居ないやら？

待ちましょう！ オオルリが歌っています。コシアカツバメが電線に。イワツバメも並んで止まります。

ずいぶん待ちました。 野良仕事の爺ちゃんがズーっとこちらを見て立っておられます？

『こんにちはあ～お邪魔しています』 『鳥は、ええきの処に居るよ』と後ろを振り向かれます。 『歩いて行ける処ですか？』 『二本の脚があるならいけるサ(笑顔)』

爺ちゃん、これを教えたかったんだ。

二本の脚で向かいます。 “ええ木(良い木)” と聞えましたが“駅”でした。

伊賀和志駅、小さな小さな JR 三江線の無人駅です。 ホームの向こうは山、電線にはツバメにカワラヒワ、何処からともなくブッポウソウも出現♪します。

皆を呼びます！ 全員、しっかり見ました！ 気付けば人口の音は、まったく在りません。

「キョーッ キョーッ♪」反対の山からはアオゲラの声。「ツキヒホシ ホイホイホイ♪」サンコウチョウ、アカショウビンも遠くに聞こえます。

そろそろ帰路に着きましょう。
走り出して直ぐですが、三江線鉄橋横の電線をチェックして行きましょう。
川土手を登り探します。 居ました！ブッポウソウ。山の斜面の電線です♪
望遠鏡でしっかり観察出来ました。
20時半、新鳥栖到着！ 来年もオオコノハズクに挑戦します。

●「水ものがたり館・アオバズク明暗物語」・・・青柳 良子さん（小城市）

6月4日（日）水ものがたり館で支部総会を開催した日、待望のアオバズクが2本のムクノキのこんもりと茂っている方の木に止まっているのを皆で観察しました。
その後「今日は見かけなかった・・・」とか「今日は枝の少ない方の木にいたよ・・・」などの情報のやりとりがありました。 どうやら館のすぐ前、例年子育てをする木に定住したようです。 樹洞ではきっと♀が抱卵中だろう・・・
水ものがたり館の職員の皆さんも毎日アオバズクの存在を確かめながら楽しんで下さっていました。

すると、6月27日朝 館に勤務されている服部二郎さんから「アオバ今日も居る」のメールあと、再び「ガラスに当たって死んでいる！ アオバかなあ(´_`) 今気づいた！」とのメールが届きました。 ちょうど私も館に着いたその時でした。 急いで行ってみると館のガラス窓にぶつかったと思われるアオバズクはすでに息をひきとっていました。そして、頭の周りにはアリがたくさん群れていて何ともかわいそうな状況を目の当たりにしました。 アリを払いのけ、そのアオバズクを袋に入れて家に持ち帰りました。

野鳥の会のラインでアドバイスをいただきながら、冷凍室（霊安室？）に保存し、「剥製にできれば会の財産としてこのアオバズクを活かせることができる！」と、業者探し。以前お願いした経験があるという馬場清さんの紹介で、滋賀県の業者に電話してみました。費用は25,000円ぐらいとのことでしたので、早速、アオバズクを「冷凍品扱い」として送りました。

8月末までにはきれいな姿になって佐賀に戻って来てくれることになっています。

「落鳥したのはつがいの片方か?!」がとても気になっていましたが、6月28日夜「皆様、吉報です♪ 水ものがたり館でペアを確認しました☆ 巣に出入りしてます。お気に入りの枝に止まります。ー安心です。」とのメールが八木ひとみさんからありました。「よかった!」「よかった!」のライン音が鳴りっぱなし(^◇^)
「???じゃあ落鳥したのは よそ者?」「おそらく」「でしょうね」で落着!

今後同じことが起きないように・・・と早速、服部さんは物資系の蒲原さんからバードセイバーをご購入、館の窓に貼って下さいました。

「もっと早く貼っておけばよかった!」とつぶやきながら・・・
窓には、以前キジバトが衝突したその痕もはっきりと残っていました。

会員みなさまのお宅や近くの建物でガラス張りのところはございませんか?
ガラスは鏡のように外の木々を写してしまい、野鳥は（木がたくさんある・・・）と思い込み、ガラスに激突してしまうのだそうです。

野鳥たちを守るために広いガラスにはバードセイバーを是非貼って下さい。

猛禽の姿が外からはシルエットで見えますので、野鳥たちは近づかないのです。
バードセイバーは インテリアとしても楽しめます。

(追記)

水ものがたり館のアオバズクは7月19日~20日にかけて、ヒナ4羽が無事に巣立ちました。ヒナの数4羽は新記録ですね！ また6月28日に落鳥したアオバズクは7月20日に剥製になって帰って来ました。9月3日(日)の学習会には皆さんに見えていただけると思います。



激突したアオバズク



激突痕とバードセイバー



バードセイバー (窓ガラス内側)
(写真提供: 服部二郎さん)

●「野鳥との出逢いを求めて・北海道+α マイカーの旅」

・・・徳淵義実さん(鳥栖市)

2016年5月16日、北海道の野鳥たちとの出会いを求め、自宅を出発。

5月17日1時に福井県敦賀港を出港、20時半、苫小牧港着。

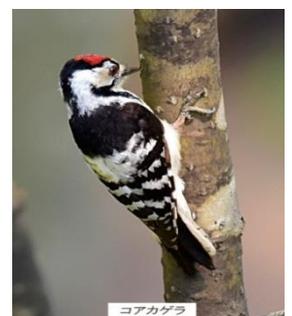
●5月18日2時半ころ帯広に到着。カワアイサ、アカゲラ、コアカゲラ、オオルリ、シマエナガ、エゾリス、シロハラゴジュウカラ等に出会う。また、北海道で初めてジギスカンにチャレンジ、臭み無くリーズナブルで柔らかくとても旨かった。



カワアイサの親子



アカゲラ



コアカゲラ

- 5月23日 クマゲラ子育ての情報があり札幌へ移動約180kmで無事に出会う。
- 5月24日 小樽の朝市で海鮮丼の朝食、石狩のはまなす丘公園でノゴマに出会う。
- 5月27日 釧路方面へ出発。鶴センター(放し飼い風)で丹頂親子を見る。釧路の魚市場の勝手丼で食事して根室へ向かう。 ※勝手丼とは、市場の中でどんぶりご飯を買って、魚屋さんで好きな刺身を乗せ、自分勝手に作れる海鮮丼。
- 5月28日 根室半島先端、納沙布岬のハイドで沖を飛ぶシノリガモ、オジロワシ、

ウミウ等を眺める。その近くの食堂で昼食時、オジロワシ情報を頂き間近でオジロワシの雄姿に出会う。また、近くの歯舞漁港ではウトウと出会う。

春国岱を回って野付半島へ。

野付半島でペアの白鳥、コムドリ、そしてすぐ側の電柱にはオジロワシが止まっていたり、この半島は海拔 4~5 メートル程と思える海岸にカッコウを多く見掛けた。

その大きなカッコウに小さなノビタキが必死で攻撃していた。宅卵されるから追っ払いたいのだろう。北海道のベニマシコは九州で見るより遥かに赤が強く、はまなすのトゲトゲ枯れ枝に止まって上機嫌で歌っていた。



オジロワシ



カッコウ vs ノビタキ



ベニマシコ

●5月30日 ギンザンマシコとの出会いを求めて知床峠へ。

知床峠は寒くギンザンマシコは見れず二日後は豪雪で通行止めになった。

●5月31日 ノゴマ目的で紋別のオムサロ原生花園へ向かう途中で、網走の小清水原生花園でチョッとだけノゴマに出会う。

●6月2日 オムサロ原生花園に着くが寒くノゴマの気配無く、網走の小清水原生花園まで120キロ引き返す事にした。小清水原生花園では、ノゴマみ♀、ホオアカ、ノビタキ、コヨシキリ、等をゆっくり見れた。北海道のノビタキは黒が濃く、ホオアカはオガワコマドリを想像させるくらい首元が綺麗だ。

横のオホーツク波打ち際にはオジロワシが行ったり来たり、打ち上がった獲物を探しているんだそうだ。

●6月4日 稚内近くのサロベツ原野へ向けて出発。

サロベツ原野ではあいにくの小雨日和、この際観光に切り替え最北端のノシャップ岬や宗谷岬へ足を伸ばし稚内で温泉を楽しんだ。

翌日はサロベツ原野でシマアオジ、オオジュリン、ホオアカ等に出会い、帰る道端でベニマシコやノゴマも出てくれた。

●6月6日 石狩はまなすが丘公園でアカモズ、チゴハヤブサ、ノゴマ等と出会う、支笏湖へ向かった。ボートハウスレストランでまん丸ジャガイモ3個を串に刺した揚げジャガイモがメチャメチャ旨かった。

支笏湖国民休暇村野鳥の森でシマエナガ、コルリ、キバシリ、ヤブサメ、クロジ等と出会う。苫小牧の港でホッキ貝バター焼き定食を食べて富良野、美瑛へ向かい北海道景色探してウロウロ、ウロウロ。

●6月11日 ギンザンマシコ目的で旭岳に向かう。

ネイチャーセンターでアドバイスを受け、ロープウエーで昇り、レンタル長靴を借りて雪

の中を展望台へ。 ギンザンマシコは遠くでチラチラ、一度だけ近くに出てくれた、シマリスも足元に出てくれたがすばしっこくシャッターは切れなかった。この寒い雪原にノゴマも数羽見かけた。



ノゴマ♂



ホオアカ

その後、みちくさを食いながら6月13日に小樽港から新潟へ移動した。新潟では、二度目である松代の棚田へ行き、朝霧の棚田を満喫した後、ライチョウとの出会いを求めて北アルプスは立山に向かう。早朝、ロープウエーに乗る前に駅周辺を車で散策していたら熊に出会った。幸い熊の方が逃げてくれた。ライチョウは天気が悪い方がよく出るそうで、当日は幸い？ 小雨日和だったせいかみくりが池辺りで♂三羽♀一羽とカヤクグリに出会えた。次に目指すは石川県、トキが来ているらしく輪島に直行。情報通り8時頃出会えて9時頃は何処かへ飛んで行った。次に目指すはアカショウビン目的で広島県臥龍山へ行ったが望み薄く、鳥取県八東ふるさとの森へ移動してコノハズク類と出会った。アカショウビンはチラリと見ただけではあるが、今回の野鳥出会い旅を終わり、総走行距離8033kmで6月21日夕方、自宅に帰り着いた。



ライチョウ

【出会った鳥】アカゲラ、コアカゲラ、クマゲラ、シマゲラ（コゲラのこと？）、アオジ、シマアオジ、シマエナガ、シロハラゴジュウカラ、ハシブトガラ、ハイタカ、クロジ、キバシリ、コルリ、ヤブサメ、オオルリ、キビタキ、ギンザンマシコ、トキ、オジロワシ。ウトウ、キンクロハジロ、ウミウ、ノゴマ、ノビタキ、キビタキ、ベニマシコ、ホオアカ、モズ、アカモズ、チゴハヤブサ、カッコウ、コムクドリ、コヨシキリ、カヤクグリ、ライチョウ、コノハズク、コノハズク、クロツグミ、ハリオアマツバメ、ニューナイスズメ、オオジュリン、シノリガモ、スズガモ その他、キタキツネ、シマリス、エゾリス、エゾシカ、ツキノワグマ 等

●「デジブック紹介します」・・・八木 ひとみさん（佐賀市）

『春の渡り 東よか干潟』

<http://www.digibook.net/d/dc8583b3a14e94b0a05e00d2528416c8/?m>

『春の渡り ハス田他』

<http://www.digibook.net/d/ebd5ab9ba00e9ef93c588860ca84579c/?m>

●中原正義さん（神崎市）からの情報をいただきました。

演劇企画フライウェイ 第5回公演

朗読版 有明をわたる翼

～有明海に降り立った鳥たちと海に生きる人間たちとの邂逅～

東京公演、福岡公演で好評だった舞台版『有明をわたる翼』のスピリッツをそのままに濃縮した朗読版。2014年福島初演、2015年朝日地球環境フォーラム公演にて大好評！

ついに佐賀公演決定！



演出・朗読
野崎美子



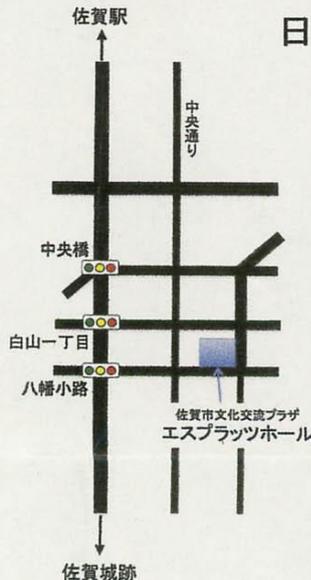
朗読
渡辺英雄



作曲・演奏
芳賀一之



歌
田中俊太郎



日時 8月11日(金・祝) 夜公演 17:30(アフタートークあり)
8月12日(土) 昼公演 13:00 夜公演 16:00

場所 佐賀市文化交流プラザ エスプラッツホール
佐賀市白山2-7-1 エスプラッツ3F

チケット(全席自由) 前売 1,200円(小・中学生1,000円)
当日 1,500円(小・中学生1,200円)

チケット取扱(6月28日より) ローソンチケット Lコード:82303

連絡先: E-mail chatran@icloud.com

Fax 096-275-2135

Tel. 080-5532-5990

演出: 野崎美子 脚本: 飯島明子、堀良一、野崎美子
音楽監督: 芳賀一之 照明・舞台監督: 増子顕一 音響: 飯嶋智
制作: 飯島明子、高橋徹 プロデューサー: 飯島明子

後援: 日本ベントス学会自然環境保全委員会、日本魚類学会自然保護委員会、
日本野鳥の会





皆さんからの野鳥&生きもの情報



■八木 ひとみさん (佐賀市)

6/15 【みやき町】ケリ

6/17 【大分県くじゅう】ホオアカ、コジュリン、オオルリ、シライトソウ、オオヤマレンゲ

7/15 【福岡県小竹町南良津親水公園】ヨシゴイ、バン (幼鳥、若鳥、成鳥)

7/17 【佐賀市・石井樋公園】アオバズク

【榑原湿原】ハッチョウトンボ



ケリ



オオヤマレンゲ



シライトソウ



バン幼鳥

「 宿泊研修会 in 鳥巢 」のご案内

6年ぶりの企画です！ 唐津市浜玉町鳥巢にあります「青柳別宅」です。
あまり広くはないので宿泊者は10名までですが、もしテント利用での就寝が可能でしたらこの限りではありません。

8月19日(土) 集合 15:00 厳木道の駅「風のふるさと館」

(入口すぐのところに「休憩所」がありますので そこを集合場所に)

会費 1000円と「1品持ち寄り」です。

会費では焼き肉用の肉と野菜を購入する予定です。

飲みたいもの・食べたいもの・何でも大歓迎です！(2品でも 3品でも(^◇^))
研修会ですので「佐賀県支部の活動について」意見交換もしますよ！

夜の鳥の声も聴けたらいいな・・・と思っています。

20日(日)は椿山公園での探鳥会。簡単な朝食をとり、榑原湿原を廻って帰る予定です。

洗面用具・着替え等お持ち下さい。

事前に申し込んでいただきますので、参加希望の方は 青柳(090-1659-7353)まで
お願いします。



近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

日時：8月6日(日)、9月3日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・今津、雨天中止 / 集合：9:00 玄洋高校北西の端道路

日時：8月1日(火)、9月5日(火) 10:00～ (定例探鳥会) ※集合時間にご注意を！

場所：春日市・春日公園、雨天中止 / 集合：10:00 旧公園管理センター前 (第5駐車場横)

日時：8月12日(土)、9月9日(土) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・大濠公園、雨天中止 / 集合：9:00 公園ボート乗り場前

日時：8月13日(日)、9月10日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・和白海岸、雨天中止 / 集合：9:00 JR 和白駅前の和白公園

日時：8月20日(日) 8:00～11:00 (定例探鳥会) ※集合時間にご注意を！

場所：筑紫野市・天拝山、雨天中止 / 集合：9:00 天拝山歴史自然公園水上ステージ横

日時：8月27日(日) 8:00～11:00 (定例探鳥会) ※集合時間にご注意を！

場所：福津市・久末ダム、雨天中止 / 集合：9:00 久末ダムの多目的広場横の駐車場

■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員 100 円 一般 200 円 高校生 100 円 中学生以下無料)

※8月の観察会はお休みします。 9月からの観察会にご期待を！

MINI BIRD GALLERY

(撮影：八木 ひとみさん)



ケリ



ホオアカ



ハッチョウトンボ



～野鳥さが原稿募集中～

①詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

②投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯:090-5084-2649

(Eメール) f_baba841@ybb.ne.jp





観察会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

①8/11 ⑤9/10 ⑦9/24 東よか干潟



②8月19日～20日 唐津市 椿山・榎原湿原



③8月27日 佐賀市・ツバメのねぐら



④9/3 「室内学習会」佐賀市・石井樋公園



⑥9月23日 鏡山(唐津市)





観察会などのご案内 (2017年8月～9月)

①8月11日(祝) ⑦9月24日(日) 東よか干潟(大授搦)観察会(佐賀市)

[時間&場所] 9:00
佐賀市東与賀町の東よか干潟展望台
[担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市)080-1707-9225
加藤 芳隆さん(上峰町) 090-4510-1560
[見どころ] 秋の渡りの真っ最中。成鳥、若鳥、
夏羽、冬羽、中間羽、ごちゃまぜ状態?

②8月19日(土)～20日(日) 椿山・檜原湿原宿泊観察会(唐津市)

[時間&場所] 15:00
唐津市厳木町の「道の駅・厳木」集合
[担当] 青柳 良子さん(小城市) 090-1659-7353
※事前予約が必要です。定員 10 名。
会費 1000 円。詳しくは 17 ページの案内をご覧ください。

③8月27日(日) ツバメのねぐら観察会(佐賀市)

[時間&場所] 16:00 有明海漁協・大詫間支所
駐車場(早津江川の川副大橋を渡り終わって
すぐ急角度に左折したところ)
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085
[見どころ] 春から夏にかけて巣立ったツバメの若鳥た
ちが集団で休む川辺のアシ原を観察します。

④9月3日(日)室内学習会

[時間&場所] 10:00
佐賀市大和町 石井樋公園「水ものがたり館」
[担当] 青柳 良子さん(小城市) 090-1659-7353
※講演「よく見る鳥の見えない話し」
講師は宮原明幸さん

⑤9月10日(日) Young 探鳥会 in 東よか干潟(佐賀市)

[時間&場所] 9:00
佐賀市東与賀町の東よか干潟展望台
[担当] 中村 さやかさん(鹿島市) 080-8863-5659
※ヤングと言いましても、心意気さえ若ければ参加者
の年齢は問いません。(中村さんのブログより)
人間のヤングが多いか、シギ・チのヤングが多いか
勝負!!

⑥9月23日(祝) 鏡山・ハチクマの渡り観察会(唐津市)

[時間&場所] 08:00 唐津市鏡山の山頂駐車場
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085
[見どころ] 渡りのピークを迎えたハチクマ&ハイタカ、
アカハラダカ、オオタカなど猛禽類。
穏やかな天気になりますように。

共通事項

- ① 資料代、保険代として 100 円頂戴しています。
- ② 雨天中止。(前夜 18:55 のNHK 天気予報で降水確率 50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～
公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル
電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636
日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸
事務局：中村さやか (☎ 0954-60-4424 携帯：080-8863-5659)
〒849-1315 鹿島市三河内 2974-1
郵便振替 01710-8-82339 「日本野鳥の会佐賀県支部」